

予防接種被害の救済と 司法のドラマ

いかにして全員救済を実現させたか
裁判所と当事者が果たした役割

日時

2005年11月18日(金)
午後6時30分～8時30分

会場

主婦会館プラザエフ
8階スイセン

東京都千代田区六番町15番地

TEL 03-3265-8111

※裏面地図参照

パネラー

大塚 直氏

早稲田大学大学院法務研究科教授・民法・環境法

宇賀克也氏

東京大学大学院法学政治学研究科教授・行政法

河野 敬氏

弁護士・元予防接種被害東京訴訟弁護団

白井哲之氏

元予防接種被害東京訴訟原告団長

[司会] 榎尾わかな

弁護士・自由人権協会会員

参加費■無料

主催

社団法人自由人権協会

東京都港区愛宕1-6-7 愛宕山弁護士ビル306号

TEL 03-3437-5466 email jclu@jclu.org

URL www.jclu.org/

予防接種被害東京訴訟は、被害者全員を救済した「司法のドラマ」でした。被害者の運動、弁護団の主張・立証活動、裁判所の理論的工夫の過程を、裁判記録出版を機に振り返ります。訴訟の中心的論点となった「因果関係」「損失補償責任」「国家賠償責任」「除斥期間」のその後の様々な訴訟への影響についても議論します。

ロースクール生、司法修習生、弁護士、学者、そして司法に関心をよせる市民の皆様のご参加をお待ちします。